



No. 108 2010年9月

平成22年度「気象教室」の報告

九州支部では、気象知識の普及を目指して「気象教室」を毎年開催しています。

今年度は「異常気象」というテーマで2010年8月28日（土）に天神ビルで開催し、3名の講師に講演いただきました。以下に、今年の気象教室について報告いたします。

講演内容



演目：異常気象とその長期変化傾向

講師：吉松和義（福岡管区気象台気候・調査課）

内容紹介：初めに異常気象とは何かということ、また九州・山口県の気温や降水量が実際どのような長期変化となっているかを示し、異常高温が増加していること、雨については有意な変化傾向はみられないことなど、お話しいただきました。



演目：エルニーニョ、北極振動と異常気象

講師：廣岡俊彦（九州大学大学院理学研究院）

内容紹介：テレビや新聞などを通してよく聞く言葉である、エルニーニョ・ラニーニャ・北極振動・南方振動など、地球規模の現象について、一体どのような現象で、なぜ異常気象を引き起こすのか図を使いながら分かりやすく解説していただきました。



演目：異常天候早期警戒情報とは

講師：高山大（気象庁地球環境・海洋部気候情報課）

内容紹介：気象庁で発表している「異常天候早期警戒情報」について、どのような情報で、いつどのような時に発表されるかなど、気象庁ホームページのイメージが使われながら、紹介いただきました。またこの情報の適中率や利用法についても解説いただきました。

-----アンケート結果-----

- ・一般の人を対象にするのであれば、もっとレベルを下げるべき
- ・興味ある内容について、わかりやすく説明されていたので、大変良かった
- ・質疑応答時間に、もう少し時間を多くしてほしい
- ・休憩時間を入れてほしい

など

今回は、様々な年代から70名ほどの参加がありました。暑い中、参加いただいた皆様、ありがとうございました。アンケートによる貴重な意見を参考に、次年度も開催いたしますので、次回のご参加お待ちしております。

最後に、講演いただいた講師の方々に厚く御礼申し上げます。

会場の様子



九州支部奨励賞の申請・推薦

日本気象学会九州支部では、「支部奨励賞」の贈呈を行っています。

奨励賞受賞の対象となる方は最大3名で、「気象学の発展に寄与した方」、「気象学を用いて社会に貢献した方」、「気象学の普及に努力した方」、「気象研究に意欲的に取り組んでいる若い方」となっています。

上記のいずれかに該当する方、あの人を是非という方がおられる場合は推薦をお願いします。不明な点等ございましたらいつでも事務局にお尋ねください。

申請・推薦の締め切りは平成22年11月4日（木）です。



事務局からのお知らせとお願い

「九州支部だより」の原稿募集

九州支部事務局では、随時原稿を募集しています。九州支部会員間の情報交換に役立つ原稿ならばどのようなものでも結構ですので、会員各位の自由な投稿をお願いします。

日本気象学会への入会勧誘

みなさんの周りに気象学を専攻している・気象関連の仕事をしている・気象に興味を持っているような方がいらしたら、日本気象学会への入会を勧めていただくようお願い致します。支部事務局へご連絡いただければ、入会案内と申込書をお送り致します。

転勤等で異動される時には

転勤等による異動の際は、新しい住所と職場名を九州支部事務局まで連絡していただくようお願い致します（電話もしくはe-mail）。本部または異動先の支部（他支部への異動時）への報告は当支部で行いますので、会員の方の異動先での手続きは必要ありません。

平成22年9月発行

〒810-0052

福岡市中央区大濠1-2-36

福岡管区气象台技術部気候・調査課内

日本気象学会九州支部

TEL：092-725-3614

FAX：092-761-1726

e-mail：msj-kysh@zb4.so-net.ne.jp

<http://www006.upp.so-net.ne.jp/msj-kysh/>